ボローニャ大学協定留学　月例報告書（１０月）

芸術文化学科 4 年 土居優莉

Buongiorno!

Buongiorno! 芸術文化学科 4 年の土居優莉です。１０月に入り、ボローニャでも一気に秋を感じるようになってきました。日中は半袖で過ごす人も多くいますが、朝晩はとても冷えます。葉っぱも黄色く色づきはじめ、スーパーにはさつまいもや栗が並ぶようになりました。日本にいるときと同じように季節の移り変わりを感じます。

↑秋を感じるいつもの道

大学の授業と語学学校卒業

さて、１０月に入り大学の授業もどんどんと内容が進んで難しくなってきました。イタリア語で専門的な講義の内容を理解するにはまだ私の語学力は到底追いついておらず、イタリア語のシャワーを浴びながら今の自分の語彙力を最大限に使って理解しようとすることで精一杯です。しかし、わからなかった言葉を少しずつ覚えたり実際に会話の中で使ってみたりして、毎日一歩一歩でも前に進んでいる感覚はずっとあります。この感覚はこれからも持ち続けたいですし、そのためには毎日の積み重ねを大切にしなければならないと思っています。

そして、９月の頭から２ヶ月間通った語学学校を１０月末で卒業しました。語学学校には本当に幅広い年齢の人が世界各地からさまざまな動機を持って学びに来ています。何歳になっても新しいことを学ぼうとする姿や、わからないことをネガティブに捉えるのではなく、わかりたいからわかるまで質問し続けてわかるまで教えてもらうという勉強に対する姿勢には本当に刺激を受けました。このようにたくさんの人と出会って一緒に時間を過ごす中で友だちもたくさんできました。授業が終わったあとに一緒に美術館に行ったり、ジェラートを食べたり、語学学校を卒業してからもメッセージのやり取りをしたり、ときどき会う約束をしたりしています。本当にこの語学学校に通ってよかったなと思いますし、また大学の授業が落ち着く期間を使って通うことも考えています。

↑語学学校の卒業セレモニー、先生と友だち

生の芸術をみて感動したこと

１０月の初めにフィレンツェに行ってきました。ボローニャからは電車で約４５分で行くことができます。念願だったウフィッィ美術館では今まで教科書の中で見ていた

作品を自分の目で見ることができ、信じられないくらい感動しました。次から次へと知っている作品が目に入ってきてまるで自分が教科書の中に飛び込んだかのような感覚でした。また、すこし高いところから一望したフィレンツェの街は本当に美しくて今でも頭から離れません。

また、先日大学の近くにあるボローニャ市立歌劇場にて上演されているオペラ「アンドレア・シェニエ」を鑑賞してきました。イタリア語のオペラをイタリアの素敵な劇場で観ることができた感動と同時に、自分が吹奏楽部でアンドレア・シェニエを演奏した高校生の頃を思い出して涙が溢れました。音楽をしていなければ、今もずっとそばにいてくれる大好きな友だちにも出会えなかったし、こんなふうにオペラを観て感動することもなかったし、イタリアに来てすらいなかったかもしれないと思うと、音楽をしていて心からよかったなと思いますし、こんなにも人生を豊かにしてくれる音楽や芸術の力は偉大だなと改めて感じます。生の芸術に触れて感動をもらうたびに、将来は音楽や芸術にかかわる仕事をして人の心を動かす人間になりたいという想いが強くなります。その目標に近づくためにもまずは自分自身が美しいものにたくさん触れて、心動かされる経験を重ねたいと思います。

じっくり丁寧に考えること

以前私はアートの現場で働く機会があり、そこで、ある物事に対して自分がどのように感じるか、なぜそう感じるのか、ほかの人の考えを聞いてどう思うかなど、すべてのことに真剣に向き合って頭を悩ませる時間が大切であると学びました。これはそのときそこで働いていた人にとってだけでなく、私たちひとりひとりとっても大切であり日々心がけるべきことであると考えています。イタリアでの生活の中では毎日数えきれないほどたくさんのことを学んだり、今ここでしかできないことをたくさん経験したりしていて、今まではそれらをただ吸収するだけで精一杯でした。日本を離れて２か月が経ち生活にもすこし慣れてきた今からは、学んだことや経験したことがこれからの自分にどのように影響し得るのかをじっくり考える時間にしたいなと思っています。

おわりに

最近は夜にハウスメイトとカードゲームをして遊んでいます。イタリアやスウェーデンのゲームを教えてもらってみんなで楽しく過ごしています。１１月からも引き続き毎日元気に楽しく過ごせますように！

↑教えてもらったカード

最後まで読んでいただきありがとうございました。